

「ナブテスコ デジタル・エンジニアリングセンター」開設について

ナブテスコ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：小谷和朗）は製品開発プロセス革新を加速するため、2013年11月1日に「ナブテスコ デジタル・エンジニアリングセンター（NDEC）」を神戸工場（兵庫県神戸市）内に開設しました。本センターは技術本部 CAE・材料技術部が運営します。

本センターの立上げ時点では、ナブテスコグループ シーメット（株）（本社：神奈川県横浜市、社長：村上 恒雄）の光造形ラピッド・プロトタイピング装置を導入して樹脂系 3D プリンターによる製品の形状、イメージ確認、営業活用を、次の段階では金属系 3D プリンターまたは CAM (Computer Aided Manufacturing、コンピュータ支援製造) を加え、実製品プロトタイプ成型により開発初期段階にて基本的な強度・機能の確認を目指します。

これらは設計と共通の 3D データを活用するもので、全社 3D 化プロジェクトの一環として、現在、当社技術本部で構築中の PLM (Product Life Cycle Management、製品ライフサイクル管理) とリンクさせ、開発の早い段階でシミュレーションをベースとして基本的な性能・強度の確認を行えるようにするものです。

さらに、5 年後には各種の試験装置を備え、開発製品の実際の強度、機能などの評価確認も行えることを目指します。

インドにおいてもこの様なデジタル・エンジニアリングセンターの開設を検討中ですが、当面は日本向けの 3D データ作成・CAE 解析の外注先・作業拠点という位置づけで、通信回線で当社技術本部の PLM と繋ぎ、NDEC との一体運用を目指します。

現在、当社技術本部で鋭意進めている全社 3D 化プロジェクトでは設計開発の初期工程の充実（フロントローディング化）による「設計開発効率の飛躍的向上」を目指していますが、これに当社の世界最先端 CAE 解析技術による「強度・機能の向上」と NDEC の迅速な試作評価機能を加えた「総合的な設計開発システム “ナブテスコ PLM”」を確立し、当社グループ製品の継続的な差別化を実現していきます。

以上